

**令和 6 年度国際救援・開発協力事業派遣要員
募集要項④**

1 共通事項

(1) 応募要件（共通）

原則として以下の要件を満たしていることを前提とする。

- ア 国際救援・開発協力要員基礎研修会（BTC）又は国際救援・開発協力要員研修Ⅱ（IMPACT）を修了（または派遣前までに修了を予定）していること。
- イ 危機管理研修Ⅱと安全管理ワークショップの双方を修了（または派遣前までに修了を予定）していること。または、安全管理研修Ⅱを修了（または派遣前までに修了を予定）していること。
- ウ 英語での協議、報告書等の作成及びその他業務の遂行が可能であること。

(2) その他

- ア 特に記載がない限り、派遣開始は当該月の月初、派遣終了は当該月の月末となること。
- イ 派遣期間の前後には、必要に応じて引継期間等が加えられること。
- ウ 事業進捗等により、派遣期間は随時変更となる可能性があること。

2 募集事業及び要員

(1) 国際赤十字・赤新月社連盟事業

連盟事業への派遣については、社内選考とは別に連盟による選考プロセスが設けられる予定であること。

ア タイ・カンボジア・ラオス・ベトナム国クラスター事務所（タイ）保健要員（オフィサー）：1名

(ア) 派遣期間

令和 6 年 9 月～令和 7 年 8 月（12 か月）

※期間については応相談だが、12 か月の派遣が最も望ましいこと。

(イ) 主な職務

医療分野での現場経験を活かし対象 4 カ国（タイ・カンボジア・ラオス・ベトナム）の赤十字社の保健戦略等の策定支援、各種事業の管理、連盟等が行う研修や会議の調整・運営、その他保健分野での支援・助言と企画・調整業務を担う。

(ウ) 応募要件

- 1 回以上の海外派遣経験があること。（連盟の緊急対応事業に関する知見があるとなおよいこと。）
- 地域保健に関わる国際活動への派遣経験があること。

- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましい。
- 職種は問わないこと。

（２）赤十字国際委員会（ICRC）事業

ICRC 事業にかかる公募については、応募者の一定期間における派遣可否を ICRC に対して積極的に事前共有するものであり、実際の派遣については、現地ニーズ等に基づく ICRC からの要請ベースとなること。（派遣を確約するものではないこと。）
ICRC に対する事前共有は年間を通して随時行う予定であるため、応募者は応募時に最新の CV を提出し、応募期間終了後も派遣可否に変更等が生じた場合は、その都度国際部企画課派遣係あて共有すること。また、過去に ICRC における要員登録がない要員については、別途、登録のための ICRC 側の選考プロセスを経る必要があること。（過去、選考プロセスにて落選した要員も同様であること。）

なお、具体的な派遣先については、ICRC が実施する医療支援事業等への派遣を想定しており、「日本赤十字社国際救援・開発協力要員安全管理体制要綱」等に基づき、日本赤十字社と ICRC の調整によって決定されること。

※詳細については、国際部企画課派遣係まで個別に照会すること。

ア 派遣期間の目安

令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月において、以下の職種別の派遣期間の目安に応じて、派遣要請に応じることのできる時期を指定すること。

- （ア）医師（外科／麻酔科／救急外来／整形外科）：2～3 か月
- （イ）看護師長：6 か月
- （ウ）看護師（手術室／病棟／小児科）：6 か月
- （エ）助産師：6 か月
- （オ）理学療法士：6 か月
- （カ）その他（Hospital Project Manager／Health Coordinator 等）：12 か月

※上記期間はあくまで目安であり、実際の派遣期間は事業内容等により調整が入る可能性があること。

イ 派遣要件

- ERU 派遣（2 回以上）経験者が望ましいこと。
- マニュアルの自動車運転免許が必須であること。
- ICRC 事業への派遣経験、または過去に日本赤十字社が実施した北イラク・クルド地域戦傷外科実地研修、ウガンダ北部医療支援事業またはパレスチナ赤新月社医療支援事業の経験があるとなお良いこと。
- ICRC が主催する War Surgery Seminar や日本赤十字社愛知医療センター名古屋

第二赤十字病院が主催する災害外傷研修を修了しているとなお良いこと。

※参考（看護職のみ）：

「赤十字の国際活動における看護実践能力向上のためのキャリア開発ラダー（令和4年2月改定）」：「レベルⅠ以上」を取得していることが望ましい。